

山田さんのジレンマ

日付（ ）氏名（ ）

テーマ

- 1 山田さんは、薬を盗むべきでしたか？それとも盗むべきではなかったですか？

()

理由

- 2 グループで、自分が選択した結果起こるプラス面とマイナス面について考えよう。
()グループ

《プラス面》

《マイナス面》

()グループ

《プラス面》

《マイナス面》

- 3 今日の授業の振り返りをしましょう。

意見交流のルール

- 1 発表者の発言をさえぎらない, 終わるまで聞く。
- 2 話を聞くときは, 発表者の方を見る。
- 3 話を聞くときは, 他のことをしない。
- 4 どんな意見でも最初から間違いと決めつけない・否定しない。
- 5 あいづちを上手に使う。
 - ・うなずき・・・相手の話すスピードに合わせて。
細かいうなずきや深いうなずきを活用する。
- 6 発表者は全員に聞こえる音量で話す。
 - せっかくの良い意見も聞こえないと意味なし。
- 7 メモする時は, 発表が終わってから。聞き漏らした場合は, 確認する。

道徳内容項目

3 主として自然や崇高なものとのかかわりに関すること

- (1) 生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する

4 主として集団や社会とのかかわりに関すること

- (1) 法やきまりの意義を理解し、遵守するとともに、自他の権利を重んじ義務を確実に果たして、社会の秩序と規律を高めるように努める。

指導に当たっては、生命の尊重と法律を守ることのジレンマを生徒にもたせる。どの行為が道徳的により優れているかを吟味したり、問題になっている二つの価値それぞれについて、判断した結果起こるプラス面とマイナス面を丁寧に検討していくことでどれを優先すべきか判断することになるだろう。つまり、一方の価値や行為を選ぶことからくるさまざまな弊害を最小にする努力をしながら、結果としてある特定の道徳的な価値を優先する決断をすることであろう。そのような中で子どもたちは「生命尊重」を通して「法律遵守」のあり方を考え、「法律遵守」を通して「生命尊重」のあり方を考えることになる。そこでは安易に二者択一的に判断することがあってはならない。また、生徒が第三の行動を選ぼうとした時は、あくまでも生命尊重と法律遵守の価値選択の問題だということを確認させる。

《授業の大まかな構成》

1 1時間の流れを示す めあての確認

生命尊重か法律を守るのか、山田さんの立場になって考える。

2 個人の意見・・・落ち着いて、周りに左右されず、じっくり自分の考えを記入させる。

3 何人かの生徒に判断とその理由を発表してもらう。

4 話し合いのルールを確認する。声量・相手を見る・最後まで聞く

5 グループング・・・同じ意見同志を小グループにする。(3～4人)

6 同じ意見をもつ者同士で交流・・・選択した結果起こるプラス面・マイナス面を考える

留意点

- ・意見交流のルールを守らせる
- ・メモさせる
- ・発表者を決めさせる

7 他の意見との交流・・・自分とは違う意見を聞く

留意点

- ・意見交流のルールを守らせる
- ・メモさせる
- ・出た意見を板書する

8 振り返り・・・次の視点で振り返り

- ・交流した結果、最初の考えからどうなったか
- ・意見交流のルールは意識できたか
- ・授業で感じたこと・学んだことを記入させる。

ガンで苦しみ死にそうになっている息子を救うために、父親である主人公山田さんは、医者からすすめられた特効薬を買うために、いろんな手を尽くしてお金を用意した。しかし、必要なお金の半分しか用意することができなかった。医者になんとか薬を分けてほしいと相談するが、お金を用意できないとダメだと言われた。困り果てた山田さんは、特効薬を作っている研究所に押し入ってその特効薬を盗んでしまった。

山田さんは薬を盗むべきでしたか？それとも盗むべきではなかったですか？

ポイント

- ・山田さんの息子は特効薬がないと死んでしまう。
- ・医者はお金を用意できないと治療してくれない。
- ・当然、研究所もお金を用意しないと譲ってくれない。